

DP(R4-)とMCCの対応（機械工学科）

DP \ MCC	I 数学	II 自然科学	III 人文・社会科学	IV 工学基礎	V 分野別の専門工学	VI 分野別の実験・実習能力	VII 汎用的技能	VIII 能力・態度指向性（人間力）	IX 総合的な学習経験と創造的思考力
(i) 数学と自然科学を修得し、専門分野に応用することができる。	◎	◎							
(ii) 専門分野の基礎を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。				○	◎				
(iii) 専門的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をものづくりに活用できる。				○	◎	◎	○	○	○
(iv) 修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。			◎	○					
(v) 地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。				◎	○	◎	◎	◎	◎

(ii) における専門分野は以下のとおりです。

(ii -m1) 材料力学分野

(ii -m2) 流体力学分野

(ii -m3) 熱力学分野

(ii -m4) 機械力学分野

(ii -m5) 設計分野

具体的な対応科目はWebシラバスで確認可能

◎：12単位以上、○：1～11単位

DP(R4-)とMCCの対応（電気情報工学科）

DP \ MCC	I 数学	II 自然科学	III 人文・社会科学	IV 工学基礎	V 分野別の専門工学	VI 分野別の実験・実習能力	VII 汎用的技能	VIII 能力・態度指向性（人間力）	IX 総合的な学習経験と創造的思考力
(i) 数学と自然科学を修得し、専門分野に応用することができる。	◎	◎							
(ii) 専門分野の基礎を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。		○		○	◎	○			
(iii) 専門的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をものづくりに活用できる。				○	◎	◎			
(iv) 修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。			◎	◎					
(v) 地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。				◎	○		○	○	○

(ii) における専門分野は以下のとおりです。

(ii -e1) 電気分野

(ii -e2) 電子分野

(ii -e3) 情報分野

(ii -e4) 通信分野

具体的な対応科目はWebシラバスで確認可能

◎：5以上，○：5未満,1以上

DP(R4-)とMCCの対応（電子制御工学科）

MCC DP	I 数学	II 自然科学	III 人文・社会科学	IV 工学基礎	V 分野別の専門工学	VI 分野別の実験・実習能力	VII 汎用的技能	VIII 能力・態度指向性（人間力）	IX 総合的な学習経験と創造的思考力
（i）数学と自然科学を修得し、専門分野に応用することができる。	◎	◎			○				
（ii）専門分野の基礎を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。		○		○	◎				
（iii）専門的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をものづくりに活用できる。				○	◎	○			
（iv）修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。			◎	◎					
（v）地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。				○	○	○	○	○	○

（ii）における専門分野は以下のとおりです。

（ii -s1）電気電子分野

（ii -s2）機械分野

（ii -s3）計測制御分野

（ii -s4）情報分野

具体的な対応科目はWebシラバスで確認可能

◎：6単位以上、○：1～5単位

DP(R4-)とMCCの対応（建設システム工学科 都市環境コース）

DP \ MCC	I 数学	II 自然科学	III 人文・社会科学	IV 工学基礎	V 分野別の専門工学	VI 分野別の実験・実習能力	VII 汎用的技能	VIII 能力・態度指向性（人間力）	IX 総合的な学習経験と創造的思考力
(i) 数学と自然科学を修得し、専門分野に応用することができる。	◎	◎							
(ii) 専門分野の基礎を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。				○	◎				
(iii) 専門的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をものづくりに活用できる。				◎	◎	○			
(iv) 修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。			◎	◎					
(v) 地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。				○	○		○	○	○

(ii) における専門分野は以下のとおりです。

(ii -c1) 構造分野

(ii -c2) 水工分野

(ii -c3) 地盤分野

(ii -c4) 計画分野

(ii -c5) 環境分野

具体的な対応科目はWebシラバスで確認可能

◎：4以上，○：4未満,1以上

DP(R4-)とMCCの対応（建設システム工学科 建築コース）

DP \ MCC	I 数学	II 自然科学	III 人文・社会科学	IV 工学基礎	V 分野別の専門工学	VI 分野別の実験・実習能力	VII 汎用的技能	VIII 能力・態度指向性（人間力）	IX 総合的な学習経験と創造的思考力
(i) 数学と自然科学を修得し、専門分野に応用することができる。	◎	◎							
(ii) 専門分野の基礎を修得し、専門的な問題を解決するために活用できる。				◎	◎				
(iii) 専門的な実験を遂行・分析することができ、実習・演習により修得した実践技術をものづくりに活用できる。				◎	◎	◎			
(iv) 修得した人文・社会科学の一般知識により広い視野を持ち、技術者として倫理的に行動し、異文化理解・交流を行うことができる。			◎	◎					
(v) 地域、社会等の問題解決のために他者と協働し、修得した専門分野の知識・技術を融合して創造することができる。また、その成果を発表することができる。				○	○		○	○	○

(ii) における専門分野は以下のとおりです。

- (ii -a1) 建築構造分野
- (ii -a2) 建築環境分野
- (ii -a3) 建築計画分野
- (ii -a4) 設計・製図分野

具体的な対応科目はWebシラバスで確認可能

◎：4以上，○：4未満,1以上